

令和5年度

おおい たっ子ワンニャン^{けんてい}検定

テキストブック^{じどうよう}(児童用)



^{しめい}氏名()

おおい た^{どうぶつあいご}動物愛護センター

目 次

I	ペットが生き生きと生活するために考えよう	1
1	ペットの「5つの自由」のこと	1
2	ペットが生き生きと生活するために、飼う前の心がまえ	2
	(1) 命をあずかる責任	
	(2) 社会に対する責任	
3	犬を飼うときのルールと心得	3
4	ネコを飼うときのルールと心得	5
※	さくらネコプロジェクトについて	6
II	犬やネコと仲良しになるために、体のことや気持ちを知ろう	7
1	犬・ネコの身体の特長	7
	(1) 犬の体	
	(2) ネコの体	
2	犬・ネコの習性	10
	(1) 犬の習性	
	(2) ネコの習性	
3	犬・ネコのしぐさと気持ち	13
※	新たな飼い主との出会い「譲渡会」	14

このテキストは、「令和5年度おおいたっ子ワンニャン検定」の参考となるもの
です。ペットとの楽しい生活をすすめていくためにも、読んでくださいね。

I ペットが生き生きと生活するために考えよう。

動物には、人間と同じように、命があり、生きていくために必要なことがあります。その
ため、飼い主には、できる限りペットのことを考え、ペットが気持ちよく生活できるように
する責任があります。

これは、世界中でみとめられている考え方で、日本でも、「動物愛護及び管理に関
する法律」をはじめとする法令などにしめされています。

日本では1973年(昭和48年)に始められました。

1 ペットの「5つの自由」のこと

(1) 飢えや渇きからの自由

○飼い主は、適切なエサをあげる。水はいつでも飲めるようにしておく。

(2) 不快からの自由

○清潔で安全な場所を用意して、動物が気持ちよく過ごせるようにする。

(3) 痛み・けが・病気からの自由

○けがや病気の場合、適切な治療を受けさせる。病気の予防を心がける。

(4) 恐怖・抑圧からの自由

○ペットが多大な恐ろしさや不安など、大きなストレスを感じないようにする。

(5) 正常な行動を表現する自由

○ペットが本能や習性に合った動物本来の行動がとれるように工夫する。



2 ペットが生き生きと生活するために、飼う前の心がまえ

ペットを飼うことは、命を預かり、地域社会の中で暮ら

していくこと。そのための飼い主の責任があります。

(1) 命をあずかる責任

① ペットの習性を理解し、安全にさせるよう、愛情を持ってペットの命がつきるまで、一生飼うこと。

② 適切なえさ(成長期は栄養のある食事)や水をあげ、必要な運動、予防注射をし、健康や安全を守ること。

③ ペットのフンや尿は適切に掃除し、清潔を保つこと。

(2) 社会に対する責任

① ペットが人とうまく共生するためにも、人を傷つけたり、フンの置きざりや鳴き声などで近所に迷惑をかけたりしないようにすること。

② ペットは、迷子になったときのために名札をつけること。マイクロチップ

(直径2mm長さ約1cmのカプセル型)を皮膚の下にうめこむことが望ましい。

③ ペットに関する法律やルールの基本的内容を調べること。

④ 飼っている動物が増えすぎて管理できないようにならないこと。

3 いぬ か 犬を飼うときのルールと心得 こころえ

(1) いぬ とうろく きょうけんびょうよ ぼうちゅうしゃ 犬の登録と狂犬病予防注射をしよう。

① いぬ こせき 犬にも戸籍がつくられる。か ぬし 飼い主は、いぬ せいご にち す 犬が生後90日を過ぎたら「犬の登録 (いっしょう 一生に1度)」と、「きょうけんびょうよ ぼうちゅうしゃ まいとし 狂犬病予防注射(毎年1回)」を受けさせることが決められている。

② これらが終わって初めて犬は家族の一員としてみとめられる。

(2) いぬ けんこう き 犬の健康に気をくばろう。

① けんこう まも 健康を守るために、か ぬし 飼い主として「びょうき よぼう 病気の予防」と「そうきはっけん き 早期発見」の気をくばりをしましょう。

② ようす ひごろ かんさつ けんこう き 様子を日頃から観察し、健康に気をくばってあげることが大切です。

③ いじょう かん 異常を感じたときは、はや じゅうい そうだん 早めに獣医に相談しよう。

○ しょくよく 食欲はあるか。

○ なき ぐえ こきゅう おな なき声、呼吸はいつもと同じか。

○ せき、くしゃみをしていないか。

○ け 毛づやはよいか。

○ め みみ はなみず で 目やに、耳だれ、鼻水などは出していないか。

○ によ う せいじょう ウンや尿は正常か。

(3) はんしょく か ぬし せきになん 繁殖は飼い主が責任をとろう。

① はんしょく のぞ そうき ふにん きよせいしゅじゅつ 繁殖を望まないのなら、早期に不妊・去勢手術をしよう。

② ふにん きよせいしゅじゅつ おこな びょうき よぼう せいかく 不妊・去勢手術を行うと、病気の予防や性格がおだやかになるなどが期待できます。

③ こいぬ う か ぬし せきになん あたら か ぬし 犬が生まれたら、飼い主の責任で新しい飼い主をさがすか、その犬の命

が終わるまで飼いつづける。

(4) しつけをしよう。

- ① 犬のことをきちんと理解し、種類・性格に応じたしつけをしよう。
- ② しつけは、人と犬とが幸せにくらすために必要です。
- ③ しつけ方がよくわからないときは、おおいた動物愛護センターで行う「しつけ教室」への参加を考えてみましょう。

(5) 適切な飼い方をしよう。

- ① 犬の放しがいには禁止されています。
- ② 飼い犬を敷地内につなぐ場合、ロープなどの長さにも注意しよう。
- ③ 散歩は、愛犬の運動、エネルギー発散、気分転換、ストレス発散にもなるので、毎日つれて行くようにしよう。
 - リードでつないで歩こう(リードをチェックしてゆるめに持つ)。
 - フンはかならず持ち帰ろう。
 - 水を入れたペットボトルを用意し、尿をした場所を洗い流そう。
 - 散歩で汚れたときは、ブラッシングなどで、清潔にしよう(スキンシップにもなる)。

(6) 万が一のためにそなえよう。

- ① 万が一、飼い犬が迷子になっても飼い主のもとに帰ってくるように、鑑札・注射済票・マイクロチップなどをつけておこう。

※ 狂犬病予防法で飼い犬につける義務がある、「鑑札」・「注射済票」は、犬の登録、狂犬病予防注射接種時に交付される。

※2019年6月、販売用の犬・ネコにはマイクロチップをうめこむことを義務づける「改正動物愛護法」がさだめられた。

- ② 飼い主は飼い犬が行方不明になったら、すぐに、「おおいた動物愛護センター」や保健所、近くの警察署に、迷子の届け出をしよう。

4 ネコを飼うときのルールと心得

(1) 予防接種を受けさせよう。

- ① ネコにも病気の予防ワクチンがあります。
- ② 相手は目に見えない病原体です。きちんと予防接種を受けさせよう。

(2) 繁殖は飼い主が責任をとろう。

- ① 飼い主が繁殖を管理することで、かわいそうな命をつくらないようにしよう。
- ② 繁殖を望まないのなら、早期に不妊・去勢手術をしよう。
- ③ 不妊・去勢手術を行うと、病気予防や性格がおだやかになるなどが期待できます。
- ④ 子ネコが生まれたら、飼い主の責任で新しい飼い主を探すか、そのネコの命が終わるまで飼いつづけること。

(3) しつけをしよう。

- ① トイレのしつけをしよう。いつもきれいなトイレの用意などを心がければ、トイレのしつけはスムーズにいくはずですよ。
- ② つめとぎなどのしつけを行おう。
- ③ ほめてしてほしい行いを身につけさせよう。

(4) 飼いネコの安全・安心を思うなら、完全室内飼育をしよう。

①ネコは、エサがじゅうぶん^{じゅうぶん}にあり、適度な上下運動^{てきど じょうげうんどう}ができ、自分のなわばり^{じぶん}が守られてい^{まも}れば、広い生活空間^{ひろ せいかつくうかん}は必要^{ひつよう}ないです。

②おもちゃなどでいっしょに遊^{あそ}んだりする時間^{じかん}をつくり、運動エネルギー^{うんどう}の発散^{はっさん}やコミュニケーションをとるようにしよう。

《室内飼育のよさ》

- 交通事故^{こうつうじこ}にあわない。
- 感染症^{かんせんしょう}にかかりにくい。
- ノミ、ダニの寄生^{きせい}を防ぐとともに、人^{ひと}にうつる病気^{びょうき}を予防^{よぼう}できる。
- 妊娠^{にんしん}しない。
- 他人^{たにん}に迷惑^{めいわく}をかけない。
- 迷子^{まいご}にならない。

(5) 名札^{なふだ}をつけよう。

①万が一^{まん いちごと}へ出た場合^でのことを考^{かんが}えて、のらネコと間違^{まちが}われないためにも、飼^かいネコには飼^かい主^{ぬし}の連絡先^{れんらくさき}などを記^{しる}した名札^{なふだ}を付^つけるようにしよう。

②マイクロチップ^{のぞ}をつけることが望^{のぞ}ましい。

※ 「さくらネコプロジェクト」について

不幸^{ふこう}なネコをふやさないために、地域^{ちいき}ののらネコに

赤ちゃん^うが生まれ^{むりょう}ないよう、無料^{ふにん}で不妊^{きよせい}・去勢^{しゅじゅつ}手術^{しゅ}をすると

い^とう取^くり組^みみのこと。手術^{しゅじゅつ}を終^ええたネコには、それが分^わかるように、耳^{みみ}にV

字カットを入れている(オスは右耳、メスは左耳)。

II 犬やネコと仲良しになるために、体のことや気持ちを知らう。

1 犬・ネコの身体の特長

(1) 犬の体

動物にはもともと持っている、すぐれた能力があります。

犬にふさわしい飼い方をするため、体の特長等を知っておこう。

① 目 [近視だけど、視野が広く、動体視力はばつぐん]

○人の視力で表すと、0.2～0.3程度です。

○動くものには100m離れていても敏感に反応する。

○暗い所で見える能力は、人間の8倍と言われている。

② 鼻 [においをかぎわける力は、人間の約100万倍]

③ 耳 [人には聞こえない小さな音や高音を聞き取れる]

○音の大きさの聞き取りは人間の6倍。

④ 口 [においで味わい、肉や草など何でも食べる]

○何でも食べるタイプだが、お米や野菜を消化する能力は人より低い。

○歯は人と同じように、乳歯から永久歯へと生えかわる。

・乳歯は28本、生後6週目頃に、生えそろう。

・その後、5～7カ月の頃までに、42本の永久歯が生えそろう。

⑤ 皮膚 [やさしくなでられると、気持ちが落ち着く]

○一般的には、^{いっぽんてき}耳の付け根^{みみ}や背中^{つね}、胸^{せなか}などをゆっくりなでると^{おち}落ち着く。

○シッポやお尻^{しり}、鼻^{はな}や口^{くち}の周り^{まわ}、足^{あし}の先^{さき}は敏感^{びんかん}でさわられるのをいやがる。

⑥足 [狩り^{あし}でつちかわれたバツグンの走力^{そうりょく}]

○走るのが速く^{はし}、速い犬^{はや}は時速^{はや}70km^{じそく}で、しかも長い時間^{なが}走ると^{じかんはし}言われてい
る。

○足のうらには肉球^{あし}があり、わずかに汗^{あせ}をかき^{かんせん}汗腺がある。

⑦赤ちゃん^{あか}の出産^{しゅっさん}

○生後約半年^{せいごやくはんとし}から赤ちゃん^{あか}を生めるようになり、以後^う、年2回^{いごねん}、出産^{しゅっさん}
できるようになる。

○**妊娠期間^{にんしんきかん}は約2ヶ月^{やくげつ}。**

⑧年齢 [人間^{ねんれい}にくらべると、犬^{にんげん}の成長^{いぬ}は早い^{せいちょう}。命^{はや}の長さ^{いのち}は短い^{なが}]

○小型犬^{こがたけん}は1年半^{ねんはん}で人間^{にんげん}の20歳^{さい}となり、それ以降^{いこう}の1年^{ねん}は人間^{にんげん}の4年分^{ねんぶん}。

○大型犬^{おおがたけん}は2年^{ねん}で人間^{にんげん}の20歳^{さい}となり、それ以降^{いこう}の1年^{ねん}は人間^{にんげん}の6年分^{ねんぶん}。

○平均寿命^{へいきんじゅみょう}は、約14.48歳^{やく}(2020年^{さい}「環境省^{ねん}」から)。

小型犬^{こがたけん}の方が長生き^{ほう}する傾向^{ながい}にある。

※犬^{いぬ}は特に人^{とく}をいやす力^{ちから}があり、**犬とのふれ**

あいを治療^{ちりょう}に利用^{りよう}することがある。

これを**動物介在療法^{どうぶつかいざいりょうほう}**という。



(2)ネコの体^{からだ}

動物^{どうぶつ}にはもともと持^もっているすぐれた能力^{のうりょく}があります。

ネコにふさわしい飼いかたをするため、体の特長などを知っておこう。

①目 [暗いところでもよく見える]

○夜行性であり、弱い光でも見える。

○光の量や感情によってひとみの大きさが変わる。

○人間が見えなくなる 1/6程度の明るさでも、物を判断できる。

②鼻 [犬ほどではないが、人間の数万～数十万倍の能力がある]

③耳 [ネコの感覚で一番すぐれている。人には聞こえない高い音を聞き分ける]

○人間は2万ヘルツまでだが、ネコは10万ヘルツまで聞ける。

○音源の方向や距離を知る能力にすぐれている。

○ネコの耳は左右別々に180度動き、広範囲の音をキャッチできる。

④口 [においで味わい、すっぱい味に敏感]

○もともと肉食動物で、獲物の肉がくさっているか判断するため発達。

○舌はトゲ状の突起でザラザラ。スプーン、フォーク、ブラシ代わり。

○歯は人と同じように、乳歯から永久歯へと生えかわる。

・乳歯は26本、生後6週目頃に生えそろう。

・その後、6カ月齢の頃までに、30本の永久歯が生えそろう。

⑤ひげ [ひげは、すぐれたアンテナ。いたずらに切ってはいけない]

○目の上、ほお、口の横、あごにあり、何かが触れると、脳に伝わる。

⑥皮膚 シツポ、鼻や口の周り、足の先は敏感でさわられるのをいやがる。

⑦足 [瞬発力・バランス感覚はバツゲン]

○長距離を走るのは苦手。一瞬で獲物をとらえる。

○ジャンプが得意で、体高の5倍は飛び上がれる。

○足の裏には音を立てずに歩ける肉球がある。獲物にとびかかるときだけツメを出す。しっかりととらえるため、ツメとぎの習性がある。

⑧赤ちゃんの出産

○生後約半年から赤ちゃんを生めるようになり、以後、年3～4回の間隔で出産できるようになる。

○妊娠期間は平均約2ヶ月。

○1頭のめすネコが、1回に6頭出産、1年間3回出産したとすると、1年間に約80頭にも増加してしまう。

⑨年齢 [人間に比べるとネコの成長は早く、命は短い]

○1年で人間の約15歳、2年で約24歳。

その後の1年は人間の約4年分。

○平均寿命は15歳前後といわれている(あくまで「めやす」)。



2 犬・ネコの習性

犬・ネコは家族同様のペット(コンパニオン・アニマル)とされています。

犬・ネコと人が共に生活するうえで、犬・ネコの習性などを知ることがとても

大切なこと。基本的なことを知っておこう。

(1) 犬の習性



① 群れで行動する

○ペットの場合、群れのなかまはみんな家族。

家族といっしょにいるのが幸せ。

○毎日、散歩やふれあいを十分行い、愛情を感じられるような生活が大切。

② 群れの中で平和にくらすとする。

○信頼でき、愛情を注いでくれると感じれば喜んでしたがう。

○犬から信頼される飼い主になることが大切。

④ 自分のなわばりを守る。

○他の動物が自分のなわばりに入ってきた場合、それを防ごうとする。

○人通りの多い所は緊張と不安でストレスがいっぱい。もの静かな場所に

ハウス(クレートやケージ)を設置するとよい。

⑤ 逃げるものを追う。

○散歩中に、ネコや自転車を見つけ、急に追いかけることがある。だから、

うなっている犬や飼い主と一緒にいない犬に出会ったときは、犬と目を合

わさず、電柱のように静かにして動かないこと。

⑥ もともと体温調節が苦手であり、暑さに弱い。

○毛におおわれ、しかも汗腺が少ないため、暑さに弱い。

○熱中症にならないように水を与える。日かげや風通しの良いところがよい。

(2) ネコの習性

①ネコは一頭で狩りをする。そつと獲物にしよびよつてとらえる。

○好奇心にあふれ、気が向いたときにあまえ、遊びたいときに遊ぶ。

②活発に動くのは主に明け方や夕方といわれている。

○獲物が動き出す明け方と巣に帰る夕方が狩りのチャンスだから。

③高いところ、せまいところを好む。

○単独行動のネコは、おそわれにくい高い場所を好む。

○室内飼育のネコには、せまくても自由に上り下りできる環境づくりが大切。

④安心できる自分のなわばりをつくる。

○日あたりがよく、くつろげる場所のあるところを好む。

○飼い主や身の回りのものに体をすりよせ、においを付けて安心感をもつ。

⑤ツメをとぐ。

○古いツメのさやをけずり落とし、鋭いツメで外敵から身を守るため。

○ツメと皮膚との間からでる液をこすりつけ、マーキングするため。

⑥セルフグルーミング(毛づくろい)をする。

○グルーミングには、毛並みの手入れや体のおいを消す効果がある。

○気持ちを落ち着かせる効果がある。

⑦高いところに上ったり下りたりする上下運動が好き。

⑧動くものにじゃれついたり、飛びついたりする遊びが好き。

3 いぬ・ネコのしぐさときもち

いぬ・ネコもいろんなきもちをしぐさでひょうげんします。

それを知って、いぬ・ネコとたのせいかつ生活をすすめていこう。

(1) いぬのしぐさときもち

- ①あくび「おちつこう。なんかふあんだなあ。」
- ②かおめせん顔や目線をそらす「けんかするつもりはないよ。」「なかよ仲良くなりたいな。」
- ③くび首をかしげる「なんていったの、ききちがいじゃないかな。」

(2) いぬのシッポときもち

- ①はげしくふる「たの楽しい～。うれしいよ～。」
(こころおこしているだけのときもある)
- ②あしあいだい足の間に入れる「こわいよ～。」
- ③もちあげる「ぼくの方がつよ強いんだぞ！」



(3) ネコのしぐさときもち

- ①ゆっくりまばたきをする「だいす大好き！」
- ②かぬし飼い主のじゃまをする「あそ遊んでほしいよ！」
- ③しせいひく姿勢を低くしてはなれる「かまってほしくないよ・・・。」

(4) ネコのシッポときもち

- ①うえほうた上の方に立てる「うれしいー！」

② ^{おお}大きくはげしくふる「なんかイライラするなー。」

③ ^{あし}足の^{あいだ}間に^こまき込む「こわいよ……。」

※ ^{あら}新たな^か飼い主^{ぬし}との^{であ}出会い「^{じょうとかい}譲渡会」

おおい^{どうぶつあいご}動物愛護センターは^{へいせい}平成31(2019)年2月17日に^{かいせつ}開設された。大切^{たいせつ}

^{いのち}な命^{すく}を救うために、^{あら}新たな^か飼い主^{ぬし}との^{であ}出会いを^{すす}進める^{じょうとかい}譲渡会をおこなっている。

^{あら}新たな^か飼い主^{ぬし}に^{であ}出会った^{かず}犬・ネコの数は次のとおり。

{2019年2月17日(開設時)～2023年6月30日(現在)}

- 犬 (675 頭)
- ネコ (1399 頭)

